

# オスキー研修

～目指せ！看護実践力アップ～

10月16日（月）～19日（木）に、新卒者74名を対象としてオスキー研修を実施しました。模擬患者を設定し、事例をもとに、酸素投与している患者の車椅子移動、酸素の取扱い、口鼻腔吸引を実践しました。研修者は、看護技術マニュアルや動画を活用して知識や技術を再確認したり、シミュレーションセンターで実際に車椅子や吸引モデルを利用して練習を行うなどの事前学習をして研修に臨んでいました。部署でも経験する機会の多い技術について自己の到達度を振り返り、安全・安楽な技術の実践に活かせることを期待しています。

## 導入



演習を始める前に、研修の目的と目標、事例と課題を確認します。事例の患者をイメージして安全・安楽な技術の実践を目指します。

## 1. 車椅子移動

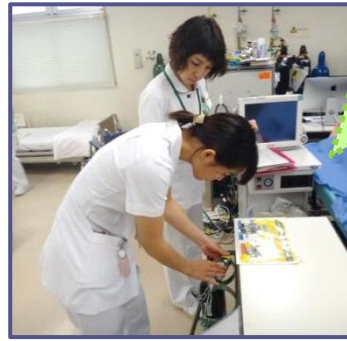


酸素投与している患者をCT検査室に迎えに行く場面から演習が始まります。移動前の体調や排泄の確認、立ち上がりの介助方法、酸素チューブへの配慮など、安全で安楽な車椅子移動の技術を再確認しました。

## 2. 酸素の取扱い



車椅子の酸素ボンベから中央配管へ酸素チューブをつかかえています。酸素量の設定やチューブの確認など基本的な技術を確実に実践することが安全と安楽につながります。



酸素ポンベの収納も演習の大切な項目です。①元栓を閉める、②酸素流量計の圧をゼロに戻す、③流量計の数値をゼロに戻す、という正しい管理方法とその理由を、研修者全員が確認しました。

## 3. 口鼻腔吸引



肺音を聴取して吸引の必要性をアセスメントし、口鼻腔吸引を実践しています。手指消毒やPPEの着脱、清潔操作を振り返る機会にもなりました。



## 振り返り



演習が終了した後に、研修者・指導者・模擬患者の3人で一緒に振り返りを行います。自分ができている事と課題や改善点を明確にし、今後の技術向上を目指します。

11月は多重課題・時間切迫下の状況における実践力の向上を目指したシミュレーション研修を行います。新人教育に関して、何かご意見やご要望などありましたらお気軽にご連絡ください。

看護職キャリア支援 教育担当